

新^{しん} 緑^{みどり} ニュース



病院の理念

確かな医療技術
やさしい対応
地域への貢献

さんきかい よこはましんみどりそうごうびょういん
医療法人社団三喜会 横浜新緑総合病院
〒226-0025 横浜市緑区十日市場町1726-7
TEL. 045-984-2400(代表) FAX. 045-983-4271
発行 地域医療連携室 TEL.045-984-6216(直通)

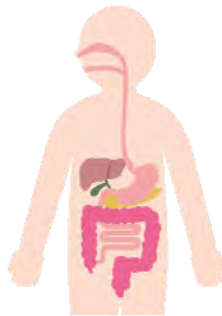


意外に怖い胆のうの病気 ～胆石症、胆のうポリープを中心に～

「胆石症」や「胆のうポリープ」という病名は、よく耳にする病名かと思いますが、「胆石症」は増加傾向と言われております。

胆のうは体の右側にあり、周囲には肝臓、膵臓、十二指腸、胃があります。形は洋梨のような形をしています。

胆のうの働きは、肝臓で作られた胆汁を濃縮し、食後に胆のうが収縮する事で胆汁は十二指腸に流れていき、脂肪を分解します。



なぜ胆のうに石ができるのでしょうか？

胆のうは流れが淀む場所で、濃縮している際に泥ができる事があります。食後に胆のうが収縮することで泥は十二指腸の方に流れていき、胆のう内は綺麗に保たれるのですが、胆のうに炎症があったり、できものがあつたりすると胆のうの動きが悪くなります。



胆石症の症状としては、右の肋骨の下やみぞおちが痛くなることがあります。他には発熱、黄疸、吐き気を認めたりしますが、2～3割の人が無症状と言われております。

症状がないからといって“胆石がない”とは言い切れないので、一度超音波検査を受ける事が大切です。

胆石はなぜ痛くなるのでしょうか？

胆のうにできた泥が石となり徐々に大きく育っていき、育った石が急に胆のうの出口にはまり込む事で痛みを起こします。

石の大きさと胆のうの出口の大きさがポイントとなります。

症状の出方として、一時的な症状を胆石発作といい、持続的にはまり続けて炎症が悪くなる病態を急性胆のう炎と言います。

治療方針について

胆のうにできるできものでは、コレステロールポリープが一番多く、他に良性の腺腫性ポリープ、胆のう癌があります。

ポリープは10mm以上かつ増大傾向のもの、また広基性のポリープでは癌の可能性があるので、手術をお奨めすることがあります。



胆石があっても症状の無い場合は通常経過を観察しますが、症状のある場合は原則手術をお奨めします。

症状の無い場合でも胆のう壁の評価が困難な方、癌を疑わせる壁肥厚がある方、胆のう機能が低下している方は手術をお奨めする事があります。また、症状のある胆石は手術以外にも溶解療法や衝撃波の治療がありますが、適応が厳しかったり、治療の期間が長かかったり、再発するリスクがありますので、患者さんとよく相談をした上で治療方針を決めていきます。

消化器センター 外科医長 佐々木 一憲



すい臓ドックコースを新たに開設しました。

すい臓は病気になっても症状が出にくく「沈黙の臓器」と言われています。特にすい臓がんは、様々な症状を自覚した時には進行しているケースが多く、悪性度が高いがんです。

当院ではすい臓がんの早期発見のために、10月よりすい臓ドックを開始しました。

検査は3テスラMRIを使用した画像検査と腫瘍マーカー（血液検査）を組み合わせ、より高い発見率を目指します。皆様のご利用をお待ちしております。ご予約・お問い合わせは当院健診センターでお電話にて承ります。

費用 29,160円(税込) ※オプション 腫瘍マーカー S Pan1・DUPAN-2検査 +4,320円(税込)

健診センター 電話：045-984-3003 受付時間：月～土 9時～17時 ※日・祝除く





脳血管内治療セカンドオピニオン外来のご案内

東京慈恵会医科大学 脳神経外科准教授 脳血管治療部副センター長である石橋 敏寛先生による脳血管内治療専門のセカンドオピニオン外来を実施しております。

セカンドオピニオン外来 毎週火曜日 10:30 完全予約制

ご希望の方は地域医療連携室（直通 045-984-6216）までご連絡ください。



みんなの健康講座 in みどりアートパークを開催しました！

9月1日（土）長津田駅前にある横浜市緑区民文化センター（みどりアートパーク）にて「みんなの健康講座inみどりアートパーク」を開催し、240名の方にご来場いただきました。

意外と身近な胆のうの病気や脳卒中・脳腫瘍について当院医師による講演を、熱心に聞き入る会場の様子から、皆様の健康への関心の高さが伺えました。当院では、今後も地域の皆様に役立つ健康講座を開催してまいります。



健康講座終了後のアンケートに寄せられた質問について回答させていただきます。

Q1：最近暑さが続いているのですが、脳卒中との関連は何かありますか？

A：脳卒中と暑さの直接的な関係性は低いです。問題は、水分を摂らなくなることで血液がドロドロになり、老廃物を排出できなくなることです。夏場は意識して水分を摂るのに対し、涼しくなると無意識に水分を摂らなくなります。これにより、血栓ができるリスクが高まってしまうので、季節を問わずこまめな水分補給を行うことが重要です。

Q2：紹介状がなくても受診できるのでしょうか？またその場合、費用はいくらかかりますか？

A：紹介状がなくても受診できます。また、その場合の費用もかかりません。ただし、かかりつけの病院・クリニックがある場合は紹介状をお持ちいただくようご案内することがございますので、ご了承ください。



ご参加ありがとうございました！ 9月9日（日）「ふれあいバザー」開催報告



晴天の中、「第13回ふれあいバザー」を開催いたしました。会場は多くの人で賑わい、ゲストのはさみ家紙太郎さんの見事なパフォーマンスには歓声があがりました。バザー収益金と横浜みどりライオンズクラブの協賛金から、横浜市緑区社会福祉協議会と災害被災地義援金へ寄付をさせていただきます。今年も地域の皆様にご協力いただき、有難うございました。



MOA美術館緑区児童作品展を今年も開催します。

当院では毎年「MOA美術館緑区児童作品展」に協賛しております。今年も下記期間において入賞作品を外来ロビーに展示いたしますので、皆様是非ご覧ください。 展示期間：10月8日（月）～10月21日（日）



糖尿病教室 開催案内

どなたでもご参加いただけます。お申し込み 045-984-2400（代）

10/2（火）	糖尿病の基礎知識	10/19（金）	薬物療法について
10/12（金）	食事療法について	10/26（金）	生活上の注意点/運動療法

- 時間 15～16時
- 場所 当院3階 食堂
- 受講料 無料

2018年 みんなの健康講座

主催：横浜新緑総合病院

※参加費無料

10月20日（土）シリーズ糖尿病 「糖との上手な付き合い方」講師 栄養科 主任 古屋 詠子（管理栄養士）

会場 十日市場地区センター 2階中会議室（十日市場駅より徒歩5分）

時間 午後1:30～2:30 問合せ 地域医療連携室 045-984-6216（直）045-984-2400（代）

当院の詳細はホームページをご覧ください <http://www.shinmidori.com/>

QRコード→

